

社会福祉法人 若越 ひかりの村



贈呈理由 環境に配慮し、給湯設備を重油ボイラーから業務用エコキュートにリニューアル



施設全景

昭和50年3月に開所した社会福祉法人ふくい福祉事業団が運営する障がい者支援施設「若越ひかりの村」は、敷地面積約10万㎡、入所定員245名、グループホームや短期入所の方を合わせると、毎日、約300名の利用者の方が生活している。福井市西部の山あいであり、桜、紫陽花、樺の紅葉など、四季折々にさまざまな表情を見せる豊かな自然環境の中に建っている。知的障がい者を対象に日常生活上の支援を行う障がい者支援施設と、就労に向けた支援および就労の機会の提供を行う就労系多機能型事業所、地域の中で自立した生活を共同で営む共同生活援助事業(グループホーム)を運営し、145名(平28.7.1現在)の職員で、その人その人に合った日常生活や社会生活が営めるよう支援している施設である。

同施設は利用者一人ひとりの希望を叶えられるよう、安全で安心を心掛け、

家族の方からも信頼されるサービスの提供に努めている。さらに家族や地域社会、ボランティア、関係機関などと連携を深めながら、新しい時代に即した透明性の高い、開かれた施設を目指している。

大規模改修を機に高効率機器を導入

開設40年が経過して、設備の老朽化によるメンテナンスコストの増加に加え、入所者の高齢化、障がいの重度化、障がい者の地域生活および就労支援の強化など、共同生活援助支援の中核施設としての機能の向上を図るため、施設の建て替えを含む大規模改修を行った。

改修にあたって、入所者にとって安全で快適な設備であることはもちろんのこと、近年の燃料価格の変動を踏まえ、低廉で安定したエネルギーの導入を図ることを考慮した。

他福祉施設での事例や設計事務所からの情報を基に設備導入の検討を重ね



業務用エコキュート

一次エネルギー消費量削減効果

採用システム	・業務用エコキュート ・ガス焚ボイラー	削減率 -42%
従来システム	・油焚ボイラー	



〔諸元〕実測結果に基づく年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※電気(夜間)9.28MJ/kWh※重油39.1MJ/ℓ
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」(平成28年3月1日改正)

た結果、空調は高効率電気式ヒートポンプ(個別分散)、給湯は業務用エコキュートとガス焚ボイラーのハイブリッド給湯システムを採用することとした。

従来の油焚ボイラーからエコキュートへ更新した結果、一次エネルギー削減量は42%と大きな効果が得られた。

今後は、エコキュートの使用状況を分析しながら、貯湯量や貯湯温度の最適運用を目指すなど、省エネ活動を継続し、より効率的なエネルギー使用に取り組んでいく。

社会福祉法人 若越 ひかりの村

所在地:福井県福井市島寺町67-30
建築設計:共同建築設計事務所・佐々木一級建築士事務所JV
建築施工:関組・フクシンJV
蓄熱設備設計:設備工学研究所
蓄熱設備施工:関組・フクシンJV
延床面積:10,400㎡
竣工:2016年(更新)

■蓄熱設備概要
業務用エコキュート 30kW×4台(昭和鉄工)
貯湯槽:16㎡